

3月うぶやま天文台星空情報

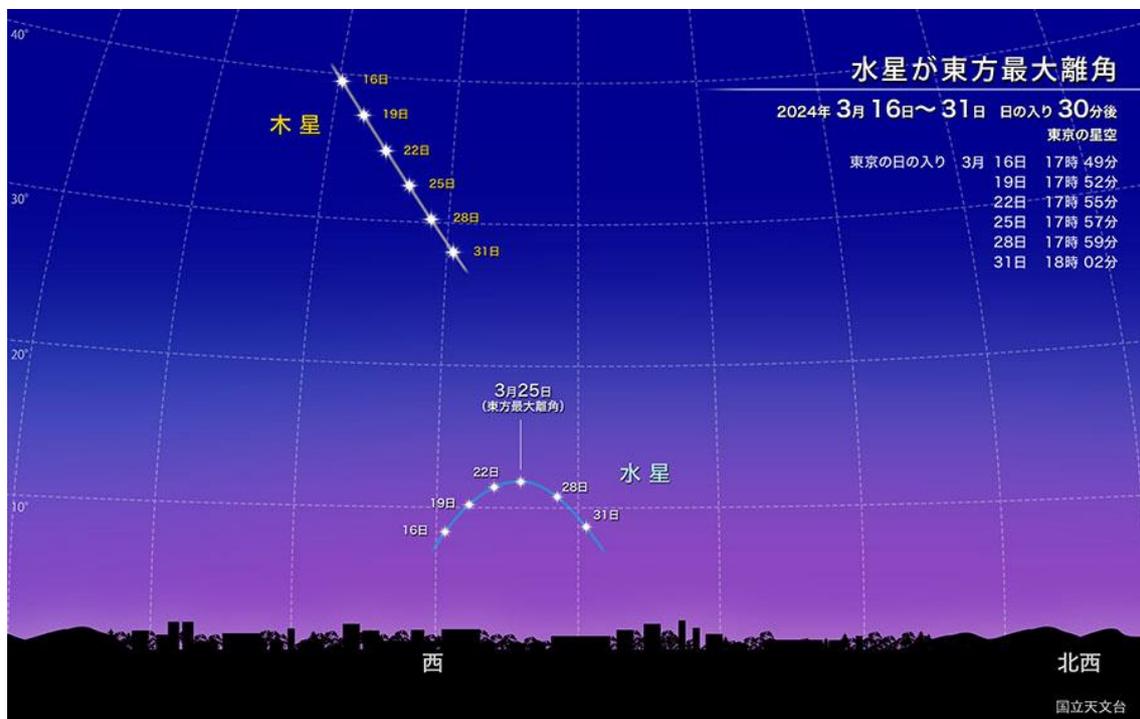


水星が東方最大離角

3月は、なかなか見ることができない水星に注目しましょう。水星は、太陽系の最も内側を公転している惑星です。このため、水星の見かけの位置が太陽から大きく離れることがなく、見つけやすくなる時期は太陽から見かけの位置が大きく離れる「最大離角」前後に限られます。

3月25日に水星は太陽の東側に最も離れる「東方最大離角」となり、この日の前後には日の入り直後の西の低空で水星が見つけやすくなります。熊本では3月19日から3月30日の間、日の入り30分後の水星の高度が10度を超えます。水星を観察できるチャンスです。特に今回の場合、水星の少し高い位置には木星が一等級でとても明るく見えます。この木星を目印に、水星を探してみてください。

水星は0等級の明るさですが、薄明の夕焼けの残る西の低空は明るいので、双眼鏡があると見つけやすいでしょう。双眼鏡を使う場合は、太陽を見ないように太陽が沈んでから観察を始めましょう。25日は、天文台は休館日なので観察会は実施しませんが、名残惜しい木星と一緒に観察してみてもはいかがでしょうか。



水星が東方最大離角